

国立大学法人鳥取大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成30年7月26日(木) 13:50~15:50 鳥取大学医学部アレスコ棟2号館2階 第一会議室 (米子キャンパス)	
委員	委員長 玉井 孝幸(高等専門学校教授) 委員 山上 恵吾(銀行常務執行役員) 委員 山根 朋洋(公認会計士・税理士)	
審議対象期間	平成29年4月1日~平成30年3月31日	
抽出案件(合計)	4件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
工事(小計)	4件	
一般競争 (政府調達協定対象工事)	0件	
一般競争 (上記工事を除く)	3件	
工事希望型競争	0件	
通常指名競争	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

別 紙

議題. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について

(委員長より、事前配布した審議案件(案)について、委員より特段意見がなかったため、資料イのとおりとする旨の説明の後、審議を開始した。)

(1) (医病) ヘリポート給油施設新営その他機械設備工事

・理由書の事後分析結果が、技術者が不足していたため、大学の入札を見合わせたとしているが、どの業者に問い合わせを行ったのか。

・今回の反省を生かしながら次回に向けてどのような対応が考えられるのか。

・今回は2社の申請があったわけだが、他の業者が申請しにくい条件等があったのか。

・参加可能な業者は鳥取県内で何社程度あるのか。

・随意契約協議で価格が大幅に落ちているが、理由は何か。

(2) (米子) とっとり創薬基盤技術実証センター新営工事

・入札に参加しなかった業者に確認しました。また、本学と取引のある他の業者にも確認しましたが、同様の理由で応募はなかった。

・大学の予算であれば、公告の時期をずらすことも考えられますが、国や県からの補助金ですと、どうしても入札スケジュールが他の地方公共団体と重複してしまいます。

・基本的に、同種工事の実績を有する業者であれば、参加可能な条件に設定しております。

・概ね10~20社程度だと思われます。

・給油設備費において、予定価格と応札価格に大幅な開きがありましたので、大学が参考見積を徴取した業者との取引を検討してもらい、結果として契約に至ることが出来ました。

<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が 99%以上となった理由は何か。 ・総合評価審査委員会における施工計画の採点が各委員によって幅が大きい、委員の間で評価基準（価値基準）を共有した方がよいのではないか。 ・契約業者が提案した施工計画の実施状況について、大学側で確認しているのか。 ・簡易型で施工計画を求めるのであれば、概要図だけでなく、最低でも簡易図面を提示すべきである。 ・辞退した業者にペナルティはあるのか。 ・辞退した理由は何か。 (3) (米子) とっとり創薬基盤技術実証センター新営電気設備工事 ・1回目の辞退理由は何か。 ・随意契約協議で価格が大きく下がっているが、理由は何か。 ・予定価格との差は何か。 ・日常の保守点検を含めて業者選定をしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接工事費は本学の予定価格を上回っておりますが、一般管理費が本学の予定価格を下回っており、結果として、予定価格と応札価格が近くなったと思われま ・検討します。 ・現場で監督職員が確認しております。 ・検討します。 ・ありません。 ・工期内に工事を完成させることが困難と判断されたようです。 ・他の地方公共団体の工事が決まったため、技術者の確保が困難であったと聞いております。 ・企業努力によるものだと思います。ここまで落としてくるとは思いませんでした。 ・受変電設備費に大きく差がありました。 ・保守点検業務は、別途、一般競争入札により業者を決定しております。
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・技術者不足の対応として、一括発注はできないのか。 <p>(4) (浜坂) 本館電気室高圧受電ケーブル改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルが古くなっていたのか。 ・原因は何か。 ・布設ケーブルの経路を変更して施工しているが、理由は何か。 ・定期検査は11月に行ったのか。 <p>報告.再苦情の申立て状況について (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国の方針に則って分離発注を行っておりますので、最初から一括発注を行うのは困難です。 ・15年程度経過しております。 ・原因は不明です。 ・該当地には樹木が茂っており施工が困難なこと、及び停電時間を最小にするためです。 ・そうです。
---	--